

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している
タイトル①	利用者への尊厳を大切にし、利用者の意思を受止め、個別的・専門的な対応に徹している	
内容①	利用者への対応はその方の価値観や生活習慣をしっかりと理解した上で、その方のペースに合わせて、ゆったり、じっくりと関わっている。その根底には、利用者の尊厳を支えたい、利用者の力を伸ばしたい、発語のない人を活動的にしたい等、利用者主体の個別的・専門的な対応に徹している。また利用者に不安や混乱がある場合等、職員で話しあえる体制ができており、さらに家族や担当の介護支援専門員との連携のもと、利用者の意思をしっかりと受け止め、利用者の能力に応じた自立した生活が送れるよう支援している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-10	地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	地域住民や関係機関との連携を強化し、利用者が生活しやすい地域づくりを目指している	
内容②	利用者が職員以外の人々との交流ができるよう積極的に機会を確保している。機能訓練として効果的な外出は季節のイベントや買い物ツアー、施設内イベントへの住民参加、様々な活動時のボランティアとの交流を始め、介護等体験の学生、地域の小学校、保育園児との交流等、地域の方々との交流機会を提供している。また高齢者支援センターや関係機関との連携強化にも力をいれている。このような地域に開かれた法人の姿勢により、利用者の生活の幅を大きく広げ、また地域の方々の認知症への理解を深め、利用者が生活しやすい地域づくりを目指している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	施設で過ごす時間は楽しく快適で、利用者が自立的な生活を送ることができるような工夫(アクティビティ等)を行っている
タイトル③	多彩なアクティビティや機能訓練さらに個別対応で、自立的な生活を支援している	
内容③	一般型通所介護と併設されている大きなメリットとして、一日を楽しく有意義に過ごせるよう、様々なアクティビティが準備されており、利用者は自身の心身状況や意向に沿って選択できるため、ほぼ全員が何らかの活動に参加できている。またADL向上のために施設内での運動や機能訓練に準ずるプログラムを作成し、個人に応じたメニューで楽しみながらの機能訓練を実施している。職員は「陽だまり」利用者の特性を考慮しつつ、ゆったりとした時間の流れの中で、その人らしく自立した生活が継続できるよう、専門的・個別的な支援に努めている。	